

令和5年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立大塔小学校		作成者	職名	教頭										
電話番号	(0956) 33-2762			氏名	中村 哲哉										
1 年間の実施内容 (取組状況・実績等)															
4月	実施テーマ	○教職員の綱紀の保持について ○体罰・不適切な指導の禁止 ○わいせつ行為禁止													
取組の評価・改善点															
<ul style="list-style-type: none"> ・「教職員の綱紀の保持について (通知)」を全教職員に配付し、週案に綴じ込ませ、年間を通して、自己を振り返る機会を適宜設けられるよう指導した。 ・「教職員のためのコンプライアンスハンドブック」を基に事例研修を深め自覚を高めた。 ・「体罰のない学校『ながさき』」を活用し、教職員の啓発を行った。 															
7月	実施テーマ	○飲酒運転の根絶 ○ハラスメント防止 ○情報管理の徹底													
取組の評価・改善点															
<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業前には服務規律について全体で共通理解を図り、法令順守の意識を高めた。 ・情報管理については、成績データ等の持ち出しを厳正化し、危機管理意識を高めた。 															
12月	実施テーマ	○公金等の取扱い ○業務縮減と効率化													
取組の評価・改善点															
<ul style="list-style-type: none"> ・会計については、複数の目で考査を行い、公金の厳正な取扱いを心掛けた。 ・業務縮減と効率化については、超過勤務時間が月45時間を超える職員が減った。勤務時間内の連携により効率よく働く職場の風土が着実に築かれている。 															
2 服務規律委員会															
委員会名	服務規律委員会・労働安全衛生管理委員会														
構成員	所属内委員 (13名 校長、教頭、教務、保健主事、養護教諭、栄養職員、各学年主任) 外部委員 (6名 PTA 会長、学校評議員 5名)														
3 年間を通しての計画の達成状況															
年間を通しての取組状況チェックリスト															
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号 (ア～コ) で回答ください。(複数回答可)															
<table border="1"> <tr> <td>イ</td> <td>ウ</td> <td>キ</td> <td>ク</td> <td>ケ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						イ	ウ	キ	ク	ケ					
イ	ウ	キ	ク	ケ											
その他 (ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。)															
①スクールロイヤーを招聘し職員研修を行った。②「チーム大塔不祥事根絶宣言」「交通事故対応マニュアル」を明記したカードを作成・配付し、意識を高めた。															
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください (以下同じ)。															
<table border="1"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 少し不十分</td> <td>() できなかった</td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった												
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。															
<table border="1"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 少し不十分</td> <td>() できなかった</td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった												
(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。															
<table border="1"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 不十分だった</td> <td>() 実施してない</td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施してない						
(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施してない												
資料添付				有 ・ (無)											

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）
<p>校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。</p> <p>校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。</p>	
<p>【工夫（例）】</p> <p>ア 運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職員の指導中心の研修から、サービス規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。 <p>イ 具体的な事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。 <p>ウ 外部講師を招いての講話</p> <p>エ 体験的な研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを取り入れる。 <p>オ グループ討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。 ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。 <p>カ ワークシートの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。 <p>キ チェックリストを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。 <p>ク ファイリングして保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。 <p>ケ 決意表明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。 <p>コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。 	